

# 根っこを張って地域貢献

耕人塾第11期生入塾

13中高から20人学ぶ

中高校生の人間力を育む「耕人塾」(木村民男塾長)の第11期開塾式が21日、東松島市の矢本東市民センター

で開かれた。本年度は石巻地方や仙台市、多賀城市の13中学・高校から新規13人を含む20人が入塾。昨年度に引き続き、「世界に誇れる石巻地域にしよう」を発信!未来へをテーマに1年間「あいさつ・清掃・ごみ拾い+1(プラスワン)」

の実践を通し、主体性や創造力を伸ばす。地域社会に貢献できる高い志を持った人材を育成することを目的とした同塾は平成24年度から毎年実施。石巻地方の各教育機関の代表らが運営委員を務め、生徒を指導する教

育講師を迎えた講話やごみ拾い運動、松島自然の家での宿泊研修などを行う。生徒同士で交流を図りながら心と体を鍛える多彩なワークショップを展開し、12月の閉塾式で活動報告した後、修了証が手渡される。

開塾式のあいさつで木村塾長は「人間力は徳を養い、心体を鍛えて知を高めること。それを利他の心で実践することが地域社会の貢

献につながる。自ら動き、楽しみ、しっかりと自分の「根っこ」を張ってほしい」と呼び掛けていた。

初日はアイスブレイクとして「短歌で自己紹介」を行った後、耕人塾OB会で

後、耕人塾OB会で学委員の高橋倫平さん、初貝優花さん、大橋珠麗さんが「塾生へのエール」と題してトークセッション。塾生時代の思い出や経験を振り返りながら、後輩たちの有意義な学びと成長を期待。最後に個人目標の設定や共有を行い、世界に誇れる石巻にする

ため、生徒を指導する教

育講師を迎えた講話やごみ拾い運動、松島自然の家での宿泊研修などを行う。生徒同士で交流を図りながら心と体を鍛える多彩なワークショップを展開し、12月の閉塾式で活動報告した後、修了証が手渡される。

開塾式のあいさつで木村塾長は「人間力は徳を養い、心体を鍛えて知を高めること。それを利他の心で実践することが地域社会の貢

献につながる。自ら動き、楽しみ、しっかりと自分の「根っこ」を張ってほしい」と呼び掛けていた。

初日はアイスブレイクとして「短歌で自己紹介」を行った後、耕人塾OB会で

後、耕人塾OB会で学委員の高橋倫平さん、初貝優花さん、大橋珠麗さんが「塾生へのエール」と題してトークセッション。塾生時代の思い出や経験を振り返りながら、後輩たちの有意義な学びと成長を期待。最後に個人目標の設定や共有を行い、世界に誇れる石巻にする

ため、生徒を指導する教

育講師を迎えた講話やごみ拾い運動、松島自然の家での宿泊研修などを行う。生徒同士で交流を図りながら心と体を鍛える多彩なワークショップを展開し、12月の閉塾式で活動報告した後、修了証が手渡される。



人間力を養う大切さを説いた木村塾長

【山口紘史】